

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	医療ビジネス観光福祉専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
収支計算書又は損益計算書	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
財産目録	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
事業報告書	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
監事による監査報告（書）	https://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療ビジネス学科 医療事務コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1350 単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位
2 年	昼	1860 単位時間 / 単位	2250 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人 ※学科総定員		10 人 ※医療ビジネス学科の内数	0 人	2 人	5 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目の指導内容等に関して、学科会議（不定期）や教員講師会（年2回）にて確認を行っている。

前期開講および通年開講科目のシラバスは、3月末までに授業担当の教員講師が作成する。4月の授業開講までにWebサーバーにて公開する。

後期開講科目のシラバスは9月末までに授業担当の教員講師が作成し、Webサーバーにて公開する。

成績評価の基準・方法

（概要）

シラバスに明記された評価項目に関して学期末に評価し、以下の区分で評定値を決定する。

100～80点：A

79～70点：B

69～60点：C

59～0点：D

GPAは、A=3、B=2、C=1、D=0としてGPを定め、以下の式にて算出する。

GPA = (科目の GP×単位数) の合計 ÷ 科目の単位数の合計 なお、出席不足で単位認定されなかった科目については GPA に反映しない。 成績の分布は各学科の教務主任とクラス担任に一覧表を配布する。
卒業・進級の認定基準 (概要) 学則および「履修に関する規程」、「成績に関する規程」に則り、シラバスに明記された評価方法に基づいて決定された成績に関し、各学期の授業終了後（前期は 9 月中旬、後期は 2 月中旬）、成績判定会議を実施する。 卒業の条件は以下の項目をすべて満足していることとなる。 1. 履修すべきすべての科目について C 以上の評定であること 2. 学校に対して学費等の校納金を不足なく納めていること 3. 学校から貸与されている教材などをすべて返却していること
学修支援等 (概要) ・一人一人に能力適性試験の結果を踏まえた、キャリアカウンセリング（年 2 回以上） ・学校行事（社会人基礎力、コミュニケーション能力向上のため） ・担任との面談による生活指導 ・地域と連携したボランティア活動 ・現場見学会や現場体験研修、インターンシップ ・資格検定取得対策 ・学内就職ガイダンス、個別企業学内説明会

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	人 (%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 病院・介護施設			
(就職指導内容) 入学当初より週 1 回就職関連授業（ゼミ）を展開。キャリア教育、社会人教育、職業教育を就職活動の状況に応じて、学科専攻別に実施。外部講師を招きセミナーや講演などを実施。また、業界別に学内企業説明会（一次選考を含む場合もあり）を実施している。履歴書やエントリーシートの指導はもちろん、筆記試験対策や面接対策なども、対策期間を設けて集中的に実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務能力認定試験、医療事務 O A 実務能力認定試験、介護職員初任者研修ほか			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	3 人	23.1%
(中途退学の主な理由) 体調不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任制度を設け、学生及び保護者との個別面談を定期的に行う ・出席率が低下している場合、電話連絡及び家庭訪問を行う		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療ビジネス学科 IT コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間／単位	390 単位時間 ／単位	1410 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人 ※学科総定員		48 人 ※医療ビジネス学科の内数	43 人	2 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科目の指導内容等に関して、学科会議（不定期）や教員講師会（年 2 回）にて確認を行っている。 前期開講および通年開講科目のシラバスは、3 月末までに授業担当の教員講師が作成する。4 月の授業開講までに Web サーバーにて公開する。 後期開講科目のシラバスは 9 月末までに授業担当の教員講師が作成し、Web サーバーにて公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） シラバスに明記された評価項目に関して学期末に評価し、以下の区分で評定値を決定する。 100～80 点：A 79～70 点：B 69～60 点：C 59～ 0 点：D GPA は、A=3、B=2、C=1、D=0 として GP を定め、以下の式にて算出する。 $GPA = (\text{科目の GP} \times \text{単位数}) \text{の合計} \div \text{科目の単位数の合計}$ なお、出席不足で単位認定されなかった科目については GPA に反映しない。 成績の分布は各学科の教務主任とクラス担任に一覧表を配布する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則および「履修に関する規程」、「成績に関する規程」に則り、シラバスに明記された評価方法に基づいて決定された成績に関し、各学期の授業終了後（前期は 9 月中旬、後期は 2 月中旬）、成績判定会議を実施する。 卒業の条件は以下の項目をすべて満足していることとなる。 1. 履修すべきすべての科目について C 以上の評定であること 2. 学校に対して学費等の校納金を不足なく納めていること 3. 学校から貸与されている教材などをすべて返却していること
学修支援等

(概要) ・一人一人に能力適性試験の結果を踏まえた、キャリアカウンセリング(年2回以上) ・学校行事(社会人基礎力、コミュニケーション能力向上のため) ・担任との面談による生活指導 ・地域と連携したボランティア活動 ・現場見学会や現場体験研修、インターンシップ ・資格検定取得対策 ・学内就職ガイダンス、個別企業学内説明会
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状態を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	3人 (50.0%)	3人 (50.0%)
(主な就職、業界等) 情報サービス業			
(就職指導内容) 入学当初より週1回就職関連授業(ゼミ)を展開。キャリア教育、社会人教育、職業教育を就職活動の状況に応じて、学科専攻別に実施。外部講師を招きセミナーや講演などを実施。また、業界別に学内企業説明会(一次選考を含む場合もあり)を実施している。履歴書やエントリーシートの指導はもちろん、筆記試験対策や面接対策なども、対策期間を設けて集中的に実施している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 情報処理技術者試験(ITパスポート、基本情報、応用情報)、医療情報技師、Microsoft Office Specialist ほか			
(備考)(任意記載事項) 年々、就職活動時期が早まっており、2年制学科の1年次に内定が出てしまう。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任制度を設け、学生及び保護者との個別面談を定期的に行う ・出席率が低下している場合、電話連絡及び家庭訪問を行う		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
教育・社会福祉		専門課程	介護福祉学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1850 単位時間／単位	1020 単位時間 ／単位	450 単位時間 ／単位	450 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1920 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		109 人	91 人	6 人	8 人	14 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
各科目の指導内容等に関して、学科会議（不定期）や教員講師会（年 2 回）にて確認を行っている。							
前期開講および通年開講科目のシラバスは、3 月末までに授業担当の教員講師が作成する。4 月の授業開講までに Web サーバーにて公開する。							
後期開講科目のシラバスは 9 月末までに授業担当の教員講師が作成し、Web サーバーにて公開する。							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
シラバスに明記された評価項目に関して学期末に評価し、以下の区分で評定値を決定する。							
100～80 点：A							
79～70 点：B							
69～60 点：C							
59～ 0 点：D							
GPA は、A=3、B=2、C=1、D=0 として GP を定め、以下の式にて算出する。							
$GPA = (\text{科目の GP} \times \text{単位数}) \text{の合計} \div \text{科目の単位数の合計}$							
なお、出席不足で単位認定されなかった科目については GPA に反映しない。							
成績の分布は各学科の教務主任とクラス担任に一覧表を配布する。							
卒業・進級の認定基準							
(概要)							
学則および「履修に関する規程」、「成績に関する規程」に則り、シラバスに明記された評価方法に基づいて決定された成績に関し、各学期の授業終了後（前期は 9 月中旬、後期は 2 月中旬）、成績判定会議を実施する。							
卒業の条件は以下の項目をすべて満足していることとなる。							
1. 履修すべきすべての科目について C 以上の評定であること							
2. 学校に対して学費等の校納金を不足なく納めていること							
3. 学校から貸与されている教材などをすべて返却していること							
学修支援等							
(概要)							
・一人一人に能力適性試験の結果を踏まえた、キャリアカウンセリング（年 2 回以上）							
・学校行事（社会人基礎力、コミュニケーション能力向上のため）							
・担任との面談による生活指導							
・地域と連携したボランティア活動							
・現場見学会や現場体験研修、インターンシップ							

・資格検定取得対策			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0%)	16 人 (88.9%)	2 人 (11.1%)
（主な就職、業界等） 介護保健施設			
（就職指導内容） キャリア教育、社会人教育、職業教育を就職活動の状況に応じて、学科専攻別に実施。外部講師を招きセミナーや講演などを実施。また、業界別に学内企業説明会（一次選考を含む場合もあり）を実施している。履歴書やエントリーシートの指導はもちろん、筆記試験対策や面接対策なども、対策期間を設けて集中的に実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士（国家試験）、Microsoft Office Specialist ほか			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	2 人	2.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、帰国後音信不通（除籍）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任制度を設け、学生との個別面談を定期的に行う ・出席率が低下している場合、電話連絡及び家庭訪問を行う		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療ビジネス学科	150,000 円	650,000 円	240,000 円	その他(施設維持費 180,000 円 実習費 60,000 円)
介護福祉学科	150,000 円	600,000 円	260,000 円	その他(施設維持費 180,000 円 実習費 80,000 円)
修学支援 (任意記載事項)				
・介護福祉士修学資金貸付制度 (入学金・その他費用の免除、最大 120 万円の授業料の立替を行う)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.mbsi.ac.jp/html/syllabus_others/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこない、自己評価結果の客観性・透明性を高める。 【体制】 生徒・卒業生、関係業界、教育の知見を有する者、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。主な評価項目として、教育理念・目標、教育活動、学生受入れ、教職員組織、施設・設備等、学生生活支援、管理・運営等とする。 【実施方法】 年 1 回委員会実施		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
湘南東部総合病院 総務課	2024 年 4 月 1 日 ～2026 年 3 月 31 日	卒業生
湘南ふれあいの園 事務局 (看護・介護管理) 介護部会部会長	2024 年 4 月 1 日 ～2026 年 3 月 31 日	関係業界
医療ビジネス観光福祉専門学校 非常勤講師	2024 年 4 月 1 日 ～2026 年 3 月 31 日	教育の知見を有する者
株式会社 FMC (グローリア町田合同ビル管理組合)	2024 年 4 月 1 日 ～2026 年 3 月 31 日	地域住民代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.mbsi.ac.jp/html/syllabus_others/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.mbsi.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H114315000044
学校名（〇〇大学 等）	医療ビジネス観光福祉専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人湘南ふれあい学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－（ 0 ）人	－（ 0 ）人	－（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	－（ 0 ）人	－（ 0 ）人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	－（ 0 ）人	－（ 0 ）人	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	－（ 0 ）人	－（ 0 ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				－（ 0 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）		0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）	
年間		前半期	0人 後半期 0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1		0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況		0人	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。